

こんにちは ふくま健治です

活動報告ニュース
2023年09月号

大分市議会第3回定例会が開会

8月25日、議会運営委員会が開催され、会期は9月1日から26日までです。前半は、補正予算等の審議、後半は令和4年度の決算審査が行われます。

提出予定議案は16件、予算議案1件、一般議案15件報告10件です。一般質問は、9月7日・8日・11日です。請願・陳情の締め切りは9月7日です。

ご意見・ご要望をお寄せください。

若短大学生と懇談会



(プロジェクターで説明)

25日、大分市議会・議会活性化の6名の議員が参加、学生は3名の参加でした。議員から議会の仕組みなどの報告のあと懇談しました。

長射程ミサイル保管庫はいらない

8月11日、植田公民館で、大分敷戸分屯地に弾薬庫の新設中止を求める「市民の会」の設立総会が開催されました。約200名が参加しました。



岡村弁護士による講演、各団体代表のあいさつ、規約案、役員案が承認され、国・県・市への署名活動の取り組みが提案されました。

(党を代表であいさつ、山下書記長) 参加者からは「長射程ミサイルの弾薬庫ができれば、攻撃対象になる」「周辺住民の安全を守るためにも中止を求めていく」など、戦争国家づくりは許さない声があがりました。

気候危機打開、学習講演会

8月27日(日)「気候危機打開、持続可能なエネルギー政策を考える」講演会は、大分市東部公民館で開催されました。



講師は佐藤洋氏、日本共産党 原発・気候変動・エネルギー問題対策委員が、1頻発する記録的な豪雨と猛暑、2日本政府の反応と対応3大分県にとっての
← (講演する佐藤洋氏)

「実質ゼロ」への道をめぐって、青年や将来世代に気候変動の重荷を負わせないためにと。70分にわたり講演しました。

参加者からは「自然がこんな状態になっているのが、なぜその前に手をうてなかったのだろう」「気候はやばいと思うけど、なにをしたらいいのかと思った」「大分県の全市町村が「実質ゼロ宣言」していないのは残念」などの声が寄せられました。

排水対策計画の現地説明会

8月28日、豪雨のたびに敷地内の浸水被害を受けている東八幡地区の排水対策計画の現地説明会が行われました。



(ミスターマックス上流にて)

住民からは「やっと目処が付き、一安心」などの声が寄せられました。引き続き、浸水解消のために、みなさんと一緒にとりくみます。

大分市の土木建築部の担当者より、「道路側面にグレーチングを施し、上流域から流れ落ちる排水を祓川に流す」と当面の対策(案)が示されました。

敷地内進入防止のガードパイプ設置



(太平町)

になっています。

上野公園の園路から、利用者が近道のために民有地を通行し、土手は削られていました。当面進入防止のガードパイプが設置され、えぐられた土手の改修も行われることになっています。

次々寄せられる生活相談

○国保税の減免・分割納付 ○市県民税の支払いについて ○自治会財政などの情報開示について ○アパート住民の暴言・脅迫 ○生活保護の収入認定について ○オムツ費用の支給制度について ○ご主人の死亡による家賃契約の変更についてなどの相談に対応しました。

暮らしのご意見・ご要望をお寄せください

ふくま健治生活相談所

大分市東大道3-2-6
546-4505 (FAX兼用)
携帯090-2714-5612

